



麓小学校便り

ふもとっ子



やさしく 思いやりがあり、素直な子
かしこく 話をよく聞き、考えがもてる子
たくましく 体を鍛え、粘り強い子

令和 5年12月22日号
文責 校長 横原 さゆり

2学期 カー杯よくがんばりました

寒さが一段と増してきました。子ども達は、寒さに負けず、毎日元気な挨拶をして登校してきてくれています。雪の中、雪玉を作って楽しむ子ども達。冬を楽しむ子ども達の嬉しそうな姿に、思わずほほえんでしまいます。

さて、今日は、2学期の終業式を迎えました。

1年間の学校生活の中でも一番長く 82 日間もあった2学期。日々の教科学習はもちろんですが、学校行事、ゲストを招いての学習教室や体験学習を通して、子ども達は、頭や心、身体をいっぱい使いながら学ぶことができたと思います。

特に、運動会は、「協力することの大切さ」「成しとげた達成感」等、学校でしか味わえない経験ができ、子ども達の精神面を大きく成長させてくれました。また、麓ふれあい祭りでは、風習や伝統、麓地区の自然のよさ、地域の方々の温かさを感じる事ができました。

多様な経験の場と学習環境の中、落ち着いて学習や行事に取り組むことができるのも、日頃から保護者様、地域の皆様からいただいておりますご理解とご協力のおかげです。今後とも本校へご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、明日から冬休みに入ります。子ども達には冬休みならではの休日を有意義に過ごしてしてもらいたいと思います。インフルエンザもまだまだ流行していますので、健康に留意され、よいお年をお迎え下さい。

みそづくり体験 12月5日 6日 3年生

3年生の子ども達は、毎年恒例のみそづくりを体験しました。国語科教材「すがたをかえる大豆」で大豆について学んでおり、実際に大豆がみそに変身する過程を体験でき、貴重な学びとなりました。3年生の子ども達は、本校の体験活動コーディネーター（コミュニティ・スクール：学校運営協議会委員）の檜崎タキコ先生の説明をよく聞き、こうじと大豆を混ぜ合わせ、力強くこねながら、協力してみそづくりに取り組むことができました。

できあがったみそは、3年生みんなで分けて、各ご家庭に持ち帰る予定です。みんなの気持ちがこもった美味しいみそが完成すると思います。



校門前の門松

12月17日（日）麓おやじ会の皆様と子ども達に、たいへん立派な門松を作っていただきました。門松は、幸福をもたらす神様に迷わずに来てもらうための目印になるものと言われていました。



学校の校門に飾っていただいています。また、学校用のしめ縄を山浦町の永渕益雄様に作っていただきました。本校の子ども達の幸せを願って作っていただき、ありがとうございました。



PTA 教育講演会 12月7日

佐賀県でスクールカウンセラーとしてご活躍されている山本章先生をお招きし、ご講演いただきました。

子ども達の現状や発達障害について、またどんなことを心掛けて対応をしたらいいのかをお話いただきました。そして、子ども達は学習によって学び、自分自身を形成していくので、遊びを通して様々な力を獲得していくことの必要性を教えていただきました。

- ・遊びは、子ども達が自分のアイデンティティを形成したり、自分が興味関心をもつものを見つけたりするのに役立つ場
- ・子ども達が決定し、問題を解決し、自己制御をしながら、ルールに従うことを学ぶ場
- ・子ども達は、遊びを通して「怒り」や「恐怖」などの感情を学んでいく場
- ・遊びは、子ども達が友達をつくり、「平等」を学ぶ機会
豊かな経験を積んでいくことが、子ども達の成長にとって不可欠です。危険なことがないかは大人が見守る必要がありますが、できる限り子ども自身が試行錯誤しながら遊びを作っていく、そんな機会や環境をつくっていくことが私達大人の役割だと感じました。



企画、運営いただいたPTA 役員の皆様、貴重な学びの機会をありがとうございました。

